



# 東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階  
TEL: 03-3847-1111 FAX: 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

## 2012 - 2013 年度テーマ

R.I. テーマ 「奉仕を通じて 平和を」 R.I. 会長 田中 作次  
地区ガバナー 石川 正一  
クラブテーマ 「クラブライフの充実で、ロータリーの魅力を語ろう!」  
クラブ会長 原田 毅

## 本日の卓話

「未来を結ぶ～ RAC = 家族～」  
RI 第 2580 地区ローターアクト 2012-13 年度地区幹事 中村陽子様

## 今後の卓話予定

5/15 「東京スカイツリーと浅草」 浅草大黒家店主 丸山真司様  
5/22 夜間例会 4 演奏者 ギター 並木建司様 アコーディオン Miyack 様  
5/29 会員卓話 渡辺会員・松本会員



2013 年 5 月 8 日

第 1312 回例会

会長 原田 毅  
幹事 宮村 義男



## 5 月お誕生日祝

13日 (65 才) 加藤昭雄君 15日 (49 才) 伊石佳高君  
20日 (48 才) 岩田幸一君 20日 (50 才) 高木祐輔君  
30日 (65 才) 折原 隆君

## 前回 (4/24 1311 回例会) の記録

### 来訪者紹介

◆ゲスト 2名 NPO 法人しゅわえもん役員・立教大学日本手話兼任講師 野崎静枝 様  
NPO 法人しゅわえもん幹事 福村治美 様  
◆ビジター 1名 東京浅草R.C. 太田晴範 様

### 出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
46名	2名	4名	36名	5名	87.80%	1309 回例会修正 欠席 0 名・出席率 100%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に！

## 会長報告 <原田会長>

### ・もてなしの心

先週、65歳を記念する同窓会と言う事で長崎に行ってきました。長崎ではぶらぶら歩く事を「さるく」と言いますが、2006年に「日本で初めての町歩き博覧会」として開催された長崎さるく博が評判を呼び、その後、「長崎さるく」として定着したようです。長崎は坂の町で、階段も多く、ぶらぶら裏道を歩いて、初めてその良さが分かると言うので、私も今回2泊3日で市内をさるいてきました。そこで再発見した

事は、道を聞けば懇切丁寧に教えてくれ、中には途中まで一緒に行きますけん、と案内してくれる人までいて、町を挙げてのホスピタリティに嬉しくなりました。浅草は黙っていても世界から人が集まりますが、長崎は、おもてなしの優しさに溢れた人情と、多くの市民のボランティア精神に支えられて、リピーターを増やしている事を実感しました。長崎市の夜景は昨年10月、香港、モナコに並び世界の三大夜景に認定されたと言う事で、浅草にも導入できたら面白いだろうなと思う事が多々あった旅でした。

## 幹事報告<宮村幹事>

- ・ 5月のロータリーレートは1ドル 98円と本部から連絡がありました。
- ・ 東京板橋R.C.より例会変更のお知らせが来ております。事務所にてご確認下さい。
- ・ 来週5月1日の例会は休会になりますのでお間違いの無い様に。
- ・ 5月8日の例会終了後に、第11回理事・役員会を開催いたしますので、理事・役員の方出席をお願い致します。
- ・ 比国育英会バギオ基金より寄付金の御礼状が届いております。

## 委員会報告

### <親睦活動委員会 高木委員長>

- ・ 新入会員の後上さん歓迎会を4月25日(木)開催いたします。また5月22日(水)の夜間例会の出欠はGW明けの例会にて最終確認させていただきます。宜しく願いいたします。

### <岩田 米山奨学生カウンセラー>

- ・ 4月18日に2580地区の米山奨学生、カウンセラーのオリエンテーションに参加して参りました。当クラブではマレーシア出身のリンダさんを受け入れます。5月8日にデビューしますので、よろしく願い致します。

## ニコニコボックス

### <原田会長、宮村幹事>

- ・ 野崎静枝様、本日の卓話宜しく願い致します。

### <斎藤、海内>

- ・ 野崎静枝様、本日の卓話よろしく願い致します。

### <原田会長、宮村幹事>

- ・ 小池茂之さん、執行役員総支配人就職おめでとうございます。

### <永井、関原、植木、太田、藤掛、山尾、高木、天笠、渡辺、斎藤、大塚、海内、上野、岩戸、古谷、岩田、小林(雅)、藤田、中村、伊石、田村、井田、笹生、上原、立野>

- ・ 小池茂之さん、執行役員総支配人就職おめでとうございます。益々のご活躍をご祈念致します。

### <藤掛>

- ・ アベノミクス成長戦略、産業競争力会議で

経済再生なるか!

### <藤掛、太田>

- ・ 東日本大震災より2年、悲しみや苦難を乗り越え、絆新たに。頑張ろう東日本、立ち上がれ日本!!

### <天笠>

- ・ 結婚記念日の花束ありがとうございます。45年になりました。病気をしてから有難味を感じています。
- ・ 娘家族の家がやっと決まりました。5月7日より工事開始です。9月末に完成です。今戸の私の旧宅の跡地です。

へ今日からは 副の字とれし 支配人

春のビューホテ 夢の花咲く

湊水

## 「21世紀を担う ろう児や難聴児に私たちができること」



NPO法人しゅわえもん役員  
立教大学日本手話兼任講師

野 崎 静 枝 様

### NPO法人しゅわえもんの目的

- すべての子どもたちが、お互いに尊重しあい、自分の個性を輝かせ、自分の力を発揮し、社会に羽ばたく人になるようにサポートする事を目的とする。
- みんなのオアシスの場にと・・・  
2005年8月任意団体として発足
- 2007年NPO法人として認証され  
新たなるスタートを開始し、6年目

しゅわえもんの理念はすべての子どもたちが、お互いに尊重しあい、自分の個性を輝かせ、自分の力を発揮し、社会に羽ばたく人になるようにサポートする事です。

2005年8月に任意団体として発足し、2007年NPO法人として認証され新たなるスタートを開始し、6年目になりました。

しゅわえもんは「教育」「文化」「自然」の三本柱を中心に活動しています。

### NPO法人しゅわえもん

「教育」「文化」「自然」を三本柱に活動

- 教育** クリスマス会、ハロウィン等のイベント  
手話による絵本読み聞かせ
- 文化** 劇団しゅわえもん  
子どもから大人、聾者から聴者まで楽しめる演劇
- 自然** デフメロウキャンプ、  
BBQ、川遊び、ハイキング



「教育」は手話を中心に絵本読み聞かせや季節に合ったイベント(クリスマス会等)を行い、子どもたち同士のふれあい、保護者同士の交流の場として行っています。

「文化」は演劇を通して手話の魅力、演劇の魅力を感じて頂けるよう、演劇活動をしています。

「自然」は自然体験活動としてサマーキャンプ企画を立てて、初対面の子どもたちでも最終的には仲間意識を持って良い思い出作りに繋がるように心掛けています。

### 今、しゅわえもんが力を入れていること

- 手話による絵本読み聞かせを通して  
親子の絆、読書活動



「交わされる言葉には、「体温」がある。その温かみや、声の響きを通して喜びや人の痛みなどを受けとめる感性が豊かに育まれていきます。」

ろう児たちは手話によるコミュニケーションが心身の成長に繋がっています。同時に手話だけではなく、社会で生きていく為には日本語力も身につけなければなりません。手話による絵本読み聞かせを通して、ろう児たちが絵本を好きになっていききっかけ作りとして絵本読み聞かせに関する企画を行っています。

語り部もどのように手話で絵本の世界へ引き寄せていくか、その研鑽にも力を入れています。

最近関東内のろう学校の子どもたちに絵本読み聞かせ、または先生や保護者を対象に手話による絵本読み聞かせワークショップの依頼も増えつつあります。

今、しゅわえもんが力を入れていること

□デフ・メロウ・キャンプ  
→自然体験、ろうの成人やろう児や難聴児の交流の場



毎夏に助成金を頂いて2泊3日で30名ほどの関東地域のろう小学生を募集して自然体験活動キャンプを行っています。

スタッフたちも事前に充実したキャンプを過ごせるように危機管理の講習会、ミーティングを重ねて団結を図るようにしています。

キャンプ当日は緊張でなかなか溶け込めない子どもたちもいますが、準備万全のスタッフたちが子どもたち同士が主体性を持って仲良く団結できるようサポートしています。

参加者の大半は東京都出身で自然とふれあう機会が少ないこともあり、毎年大好評です。

今、しゅわえもんが力を入れていること

□手話劇や講演などを通して手話に対する理解をひろめる。



大人たちが楽しんでいける手話劇は確立されていますが、幼児から楽しめる芝居は皆無に等しい状態でした。

芸術心を養う事で、視野を広げるきっかけになって欲しいことで、幼児から大人まで一緒に楽しめる演劇を目指して、劇団を立ち上げました。

役者は全員がろう者で、手話の魅力を知って頂けるよう、声優による音声吹き替えもやっています。

また、大人だけではなく、演劇に挑戦したいろう児もオーディションを経て一緒に稽古を積み重ねて観客たちに感動を与えられる良い経験にもなりました。

最近では県外やろう学校からの依頼がくるようになり、手話劇の素晴らしさ、感動の輪を広げています。

21世紀を担うろう児&難聴児に私たちができること

□ろう児や難聴児そして彼らの親に  
希望と夢を！

□ろう者の私たちの姿を通して  
こどもたちに夢を与える

スタッフのほとんどが20～30代の若いろう者ですが、一回一回のイベントでこどもが満足して頂けるようにイベントの前にスタッフ会議をし、企画しながら進めています。

スタッフの中から嬉しいことにろう者初の医師になった人、ろう学校の先生になった人、看護婦として働いている人などろう児にとってよきロールモデルになっています。

乳児の保護者にとっては耳の聴こえない子どもの将来が見えず、不安を抱いている方が沢山います。

その方にろう者でも医師になれること、先生になれたことは大きな希望となっています。

ろう児や難聴児そして彼らの親にろう者の私たちの姿を通して希望と夢をあたえられるよう、しゅわえもんとして今後もスタッフ一同頑張っていきたいと思っています。